

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年7月15日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670102690
法人名	有限会社 ライフサポート
事業所名	グループホーム たんぽぽの里 (茎)
所在地	鹿児島県鹿児島市下福元町6718番地 (電話) 210-8812
自己評価作成日	令和3年7月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和3年8月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

- ・鹿児島市の南部の位置にあり、観光名所(物産館等)が点在しています。少し離れた山手には動物園があります。
- ・理念には「利用者の安心、安全を獲得し、あなたにあえてよかったと言えるサービス・・・」とあり、私達は認知症のご利用者様の支援に日々精進しております。
- ・入居者も重度化し、キーパーソンの家族も高齢になる中、利用者の状況に応じたサービスを提供できるように努力しております。本人・家族の意向に添えるように、代表者、行政、地域の方等と連携を図り、サービスの質の向上に努めています。
- ・コロナ禍で地域の方との交流が減ってきております。ワクチン接種も希望者には接種できましたので、以前の様な生活ができるよう支援してまいります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点 (評価機関記入)】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	職員が目にする場所(事務所、玄関、多目的ホール)に理念を提示して、スタッフ会議で理念の確認をして共有し、実践につなげるよう努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍で地域との交流は激減しているが、地域の訪問美容の活用を通じて利用者と地域のつながりを図っている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、あまりできていないが、運営推進会議では町内代表、民生員、長寿支援センターの方々に参加してもらい、情報提供を受けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	活動が減ってきているが、事例を出し皆さんのご意見を聞き、毎日のケアの参考にいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>コロナ禍で当施設へ足を運んで頂く機会は減ったが、管理者が市役所に出向いたり、電話で実情を伝え相談したり、意見やアドバイスを頂くことで協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>スタッフ会議で高齢者虐待防止法について話し、職員一人一人が知識を深め気を付けている。日中、玄関の施錠をすることは無いが、安全確保の面から必要な事であれば施錠することがある。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>内部研修を年二回設けて虐待についてを理解し合っている。新聞のニュースの事例を元にして、具体的に言動や行動について自らが振り返り、虐待防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在、成年後見制度を利用されている利用者はいないが、知識として勉強会を行い、職員間で共有を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に利用者と家族に時間をかけて分かりやすく説明している。質問がある際はその都度回答し、理解を得るように努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>職員は家族様の面会時や電話などで意見や要望を聞き入れ、管理者に報告している。管理者は職員間で共有できるように努め、運営に反映させている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>管理者・リーダーは日常的に話しやすい雰囲気作りをし、スタッフ会議や朝礼などでも職員からの提案や意見を聞くようにし、代表者に繋げている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は、管理者や職員の就業状況や就業環境について相談できる環境を整え、職員が働きやすいよう環境整備に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>会議等で学習会を実施し一人一人のレベルアップを目指している。新入職員の育成では、職員同士で協力し合い指導し、理解できるまで補助をしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>今年度はコロナウイルス感染拡大防止の為、同一法人の研修を設け、ネットワークを形成し、お互いのサービス向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>コロナ禍ではあるが、入居前に情報提供書を取り寄せたり、本人と家族に、ホーム見学をしてもらい、要望や不安に思っている事を聞き取り、不安を取り除き安心へと向えるよう努めている。傾聴、受容、共有を大切にしている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>安心してホームとの関係が維持できるように、本人、ご家族の意向や要望に耳を傾けている。また、ご家族からの要望を職員間でも共有し、支援内容に反映させている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>サービス導入時の聞き取りを必ず行い、必要な支援を見極め的確な支援ができるような体制をつくっている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者のできる事、していただける事を把握して自信につなげるように支援している。職員はできるだけ利用者に寄り添い、入居者同士の交流を深めたり、支え合う関係性が築けるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族との関係性に配慮させて頂き、ご家族の協力が必要な場面では橋渡しをさせてもらっている。また、月に一度のたんぽぽ便りで利用者の生活状況をお知らせしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今年度はコロナ禍で地域の交流や外出等の支援が難しかったが、手紙や電話の取次は自由にして頂いて継続的な交流が途切れないように支援している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の相性を把握し、ホールで落ち着いて過ごせるように席決めしている。また、利用者同士の円滑なコミュニケーションを図るために、職員が間に入るなどして関りを持てるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約解除後にも必要時には連絡を取ったり、ご家族、ご本人の経過をフォローしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃の生活の援助の中で、利用者の思いや希望を把握し、スタッフ会議や記録物で共有を図っている。家族とも相談しながら尊厳を大切にし、ご本人の意向に沿った支援になるよう努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に生活歴・趣味等は、本人、御家族等から情報を収集し、馴染みの話や環境で生活できるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者一人一人のサービス記録や、朝、夕の申し送りや連絡帳で全職員が状態変化や現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月5日のケアカンファレンスにて、職員がそれぞれの視点から意見やケアのあり方について情報交換を行い、状態に合わせたケアができるよう介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人日誌やケア記録をもとにスタッフ会議で意見交換し、日々の生活の様子を記録してモニタリングをし、実践に繋げている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人、ご家族の状況に応じて必要な支援（訪問カット、訪問診療、訪問物療、外来受診等）に柔軟に対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため出来ていないが、地域の資源は把握している。その人らしく生活してもらえよう常に念頭に置いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用前のかかりつけ医、事業所の協力医の受診をご家族と共に支援している。往診時や緊急時の対応には、常に主治医やご家族と連携し、状況確認をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>当事業所の看護師と、「報告・連絡・相談」を徹底し連携を図り、症状により早期の受診に繋がっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>医師やご家族との連携を密にし、入院時には速やかにご本人の情報提供を行っている。また、退院前には医師、看護師より状況説明を受け、職員間でも情報共有に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期のケアについては、入居時に指針を基に、本人や家族に適切に説明し同意を得ている。実際に重度化された場合には、医師とご家族とよく話し合い、事業所としてできる事を説明し方針を共有している。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>常日頃、事故防止や緊急時の対応等については確認し合い、利用者の急変や事故発生時に迅速に対応できるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災を想定した避難訓練、自主訓練6回/年うち、2回を消防署立ち合いのもと行っている。非常時用の水、食糧など持ち出し品のチェックも定期的に行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人に合った声掛けを行いプライバシーに配慮したケアを心掛けている。その人らしく安心、安全に暮らしていただけるかを職員全員で話し合っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	意思表示が困難な利用者様が増えている。素振りや表情で読み取り、本人の想いに近づけるように努力している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるが、一人ひとりのペースを大切にしている。業務優先にならないよう、利用者優先という気持ちを全職員で意識し合っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	起床時の整容は必ず行い、衣類の汚れや清潔な身だしなみに気を付けている。又、意思決定のできる方には、好きな服を選んだり、訪問カット時、髪型の選択を委ねている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節毎の食材を取り入れた献立や行事食等の提供を行っている。3時のお茶菓子もなるべく手作りの物を提供し、郷土菓子は楽しみの一つになっているようである。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の食習慣を把握したり、一人一人に合わせた食事形態で食事を提供している。水分摂取量にも気を付け、難しい利用者にはゼリー状にして提供する等工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、洗面所にてのうがい、歯磨きを声かけしている。拒否がある時にはうがいのみ声をかけている。本人の力で出来ない方にはスタッフが介助し清潔保持に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個人の排泄リズムを把握し、個々にあった声掛けをし尊厳を守る排泄への取り組みを心がけている。介助が必要な方は極力、トイレで排泄が行えるよう、本人の状態を見極めながら声かけや介助を行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表を用い主治医と相談しながら個々に応じた支援を心がけている。便秘気味の方には日々の日課の中で軽体操や散歩で体を動かし、必要とされる水分や繊維質を摂取するように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	利用者のその日の体調に合わせて入浴支援をしている。拒否のある時は強要することなく、入浴日の変更や足浴や全身清拭等で対応している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間は一人一人違うので、習慣に合わせて休んで頂いている。一人一人の睡眠時間を尊重し、体調に差し支えないように支援し、室内の環境や換気も適切に整えるようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師と、薬局薬剤師と連携を図り服薬支援している。処方された薬が確実に服薬できるよう誤薬のないように2重チェックしている。薬の減量や変更があった際は、状態変化を観察し、記録に残している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	役割やレクリエーション、散歩などで一人一人が楽しく、また、気分転換できるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	新型コロナウイルスの影響で難しくなっていますが、車から降りないドライブや人の少ない場所への外出、又は外庭での散歩や日光浴などで、できるだけ外へ出る機会を設け、施設内に閉じこもらないように支援をしている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご自分でお金を所持されている方は一名のみで、ほとんどの方はご家族の了解の元、必要な物がある時は職員が代行して買い物をしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご本人・ご家族の希望により携帯電話を所持している。電話希望時は、仲介して電話することができている。事業所の電話を使用したい方には気軽に対応している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には季節感のある花を飾り庭には季節の花を植えて楽しんでもらっている。ホール等の展示物は季節に合わせた飾りつけを利用者と一緒に制作している。遮光には二重カーテンを使い、空調も入居者に聞きながら調整している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った利用者同士でおしゃべりを楽しんだり、数字合わせや漢字合わせゲームを熱心にされたりと、自由に好きな事をして過ごす事ができるよう、一人一人に合わせた支援をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	契約時に部屋はご自由にお使い頂くよう説明している。使い慣れた物、写真などを置いて頂くことで、心地よく過ごして頂き、安全面にも配慮している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自力歩行の方には、歩行補助として、廊下、トイレや浴室に手すりを設置し、ふらつき時の転倒防止につながる安全面でのフォローとなっている。又、補修必要箇所については、早期に解決できるように依頼している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		○	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない